

第9回

「お金をふやす」

～「知っている」と「知らない」とでは～

本資料は、金融経済教育推進機構(J-FLEC)が作成したものです。ご使用にあたっては、下記リンク先の「講義資料の使用に関する留意事項」をご確認ください(クリックすると、J-FLEC HP(金融経済教育推進会議 大学連携講座ページ)に遷移します)。[大学連携講座](#)
本資料は、中立・公正な立場から金融経済教育を実施することを目的としており、特定の金融商品の勧誘を意図しておりません。J-FLECは、インターネットを通じて提供されている情報を含め、信頼性が高いとみなされる情報等に基づいて本資料を作成しておりますが、当該情報が正確である事を保証するものではありません。また、本資料の内容等は予告なしに変更される事があります。

J-FLEC

金融経済教育推進機構



- ① 資産形成を考えてみよう
- ② どんな金融商品があるの？
- ③ リスクとリターンを正しく知ろう
- ④ 「長期・積立・分散」について
- ⑤ 少額投資非課税制度 NISA
- ⑥ 確定拠出年金
- ⑦ 投資詐欺に気をつけよう



1 資産形成を考えてみよう

○ 当てはまるものはありますか？



一人暮らし
がしたい



海外留学
がしたい



大きな家
に住みたい



起業して
社長になりたい



やりたい仕事
がある



ライフイベント実現のためには、
『**収入・支出のバランス**』を意識し
「家計を管理する」ことが大切です。

将来的に必要となるお金は、計画的に
『**資産形成(貯蓄・投資)で準備**』しましょう。

- 「お金に余裕ができたとき」に貯めるのは案外難しく、『先に差し引くことがポイント』です。
- 無理のない範囲で「積立預金」や「積立投資」などを活用し、『お金を貯める・増やす仕組みをつくる』ことが重要です。

支出は収入の範囲内でやりくりするのが基本

例えば…



製品の製造
サービスの提供

暮らしやすさの向上
社会問題の解決

民間事業などの拡大



公共投資
企業活動

事業の拡大
公共投資の増加

家計



金融機関



企業・政府



預貯金・投資(株式、国債など)

金利・配当・株価上昇

給料
(生活資金を提供)

給与が上がり、生活が向上

事業拡大に伴い業績UP

雇用

雇用の拡大



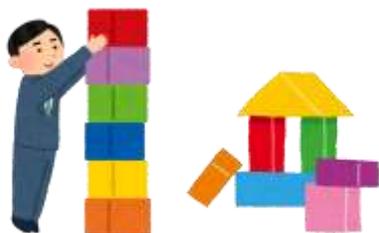


2

どんな金融商品があるの？

- 金融商品による資産形成の方法としては、「預貯金」と「投資」があり、『**目的に応じた金融商品を選択**』することが重要です。

預貯金



- ◆ 確実性重視(元本保証あり)
- ◆ 運用成果(結果)は商品選択時に決まっている※
- ◆ 原則、手数料はかからない

投資



- ◆ 増やすこと重視(元本保証なし)
- ◆ 運用成果(結果)は商品選択時に決まっていない※
- ◆ 株式・投資信託の購入などには手数料がかかることがある(手数料は金融機関によって異なる)

主な金融商品

普通預貯金

定期預貯金

積立定期預貯金

株式

投資信託

債券(国債・社債など)

※変動金利の定期預金、国債・社債の償還持ち切り等、例外もあります。

- 投資は「お金が増えるか、損をするか分からない」という点で、ギャンブルと比較されることがありますが、**『投資はギャンブルではありません』**。
- 投資とギャンブルは、本質的に**『目的や仕組みが異なります』**。

ギャンブルとは

- 娯楽を目的として偶然の結果(勝敗)に金銭を賭ける行為
- 勝者と敗者がいることが前提で、賭金から主催者の運営料を差し引いた金額を参加者で取り合う仕組み



投資とは

- 投資先の会社や国の成長を期待して資金を投じる行為
- 投資先の成長などによって、利益を得ることを目指す仕組み



1

資金の余裕

「日々の生活に必要なお金」や「近く使い道が決まっているお金」は投資に向いていない

2

時間の余裕

思いどおりに価格が上昇しなくてもそのまま保有していただける

3

心の余裕

価格の急激な下落があってもあわてず冷静な判断を

○ 金融商品は3つの観点(安全性・収益性・流動性)で整理できますが、『3つとも◎の金融商品はありません』。

	安全性 元本や利子の支払いが確実か	収益性 大きい収益が期待できるか	流動性 必要なときにすぐに換金できるか
預貯金	◎	△	◎
株式	△	◎	○
債券	○	○	△
投資信託	△ ~ ○	○ ~ ◎	○

- 会社が発行している「株式」を買って保有、売却して収益を得ます。
- 会社の成長が収益に繋がります。

魅力

値上がり益
(キャピタル・
ゲイン)

配当益
(インカム・
ゲイン)

株主優待

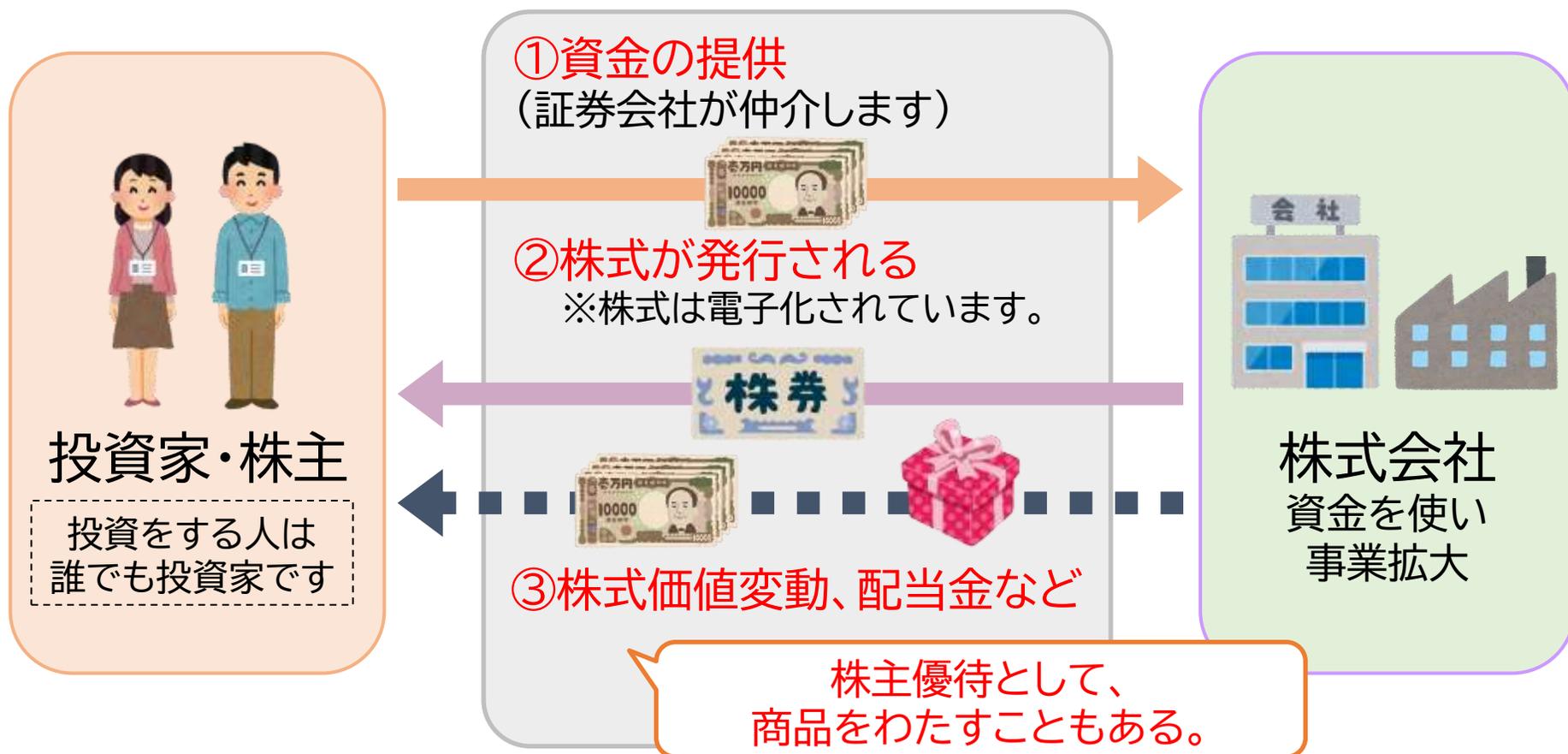
リスク

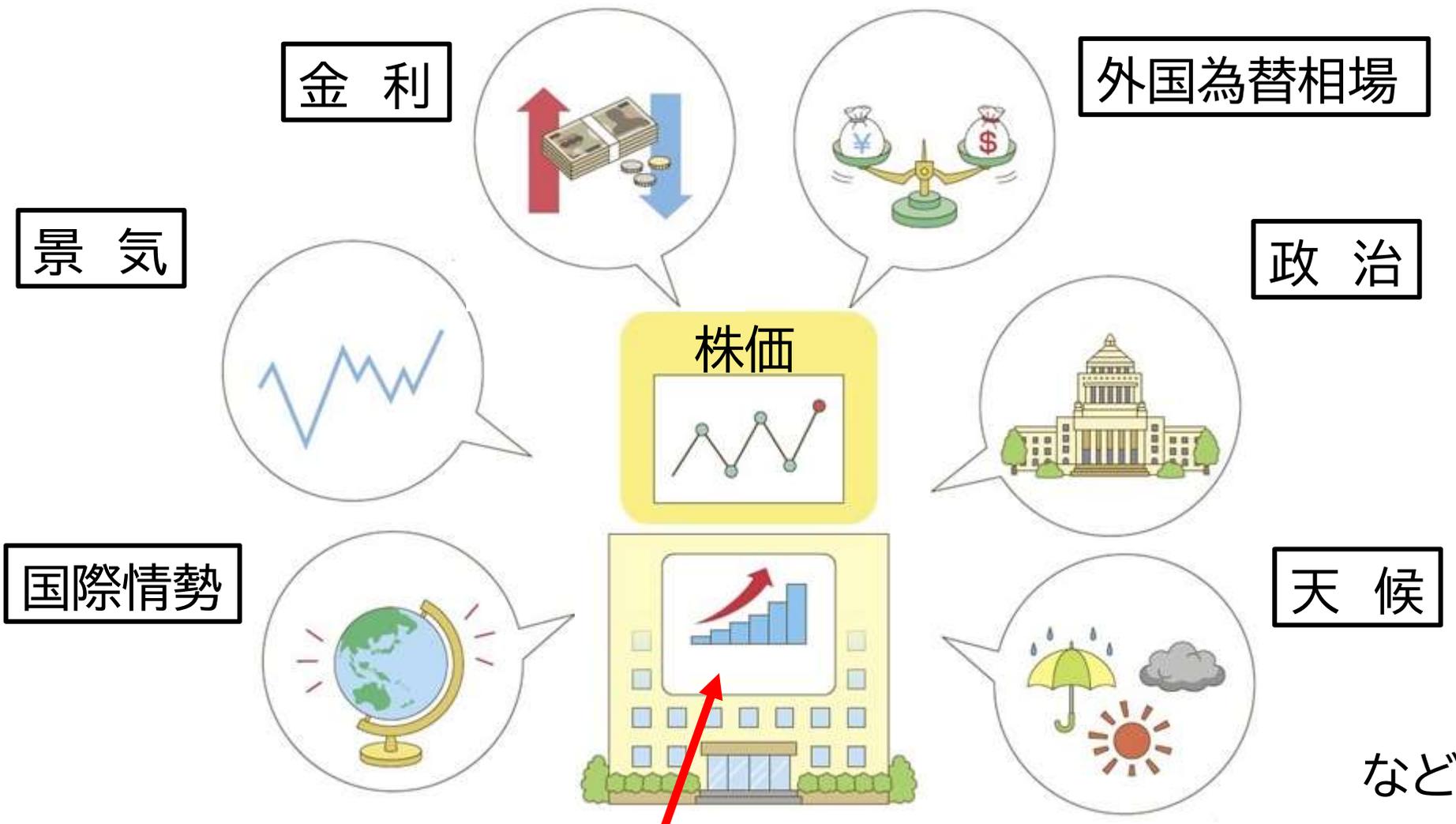
価格変動リスク

信用リスク

投資先企業の財務状況や経営状況などから生じる価格の振れ幅をいいます

- 株式投資の特徴は、『①購入した株式の値動き、②配当金の受取り』の2点です。一般的にリスク・リターンともに大きくなります(ハイリスク・ハイリターン)。





根本的な要因は会社の業績

- 「債券」とは、国や地方公共団体、会社などが発行している借用証書のようなものです。
- 満期時に受け取れる金額や、利子の金額などの条件があらかじめ決められています。

魅力

満期時に
受け取れる
額面金額

定期的に
受け取れる
利子

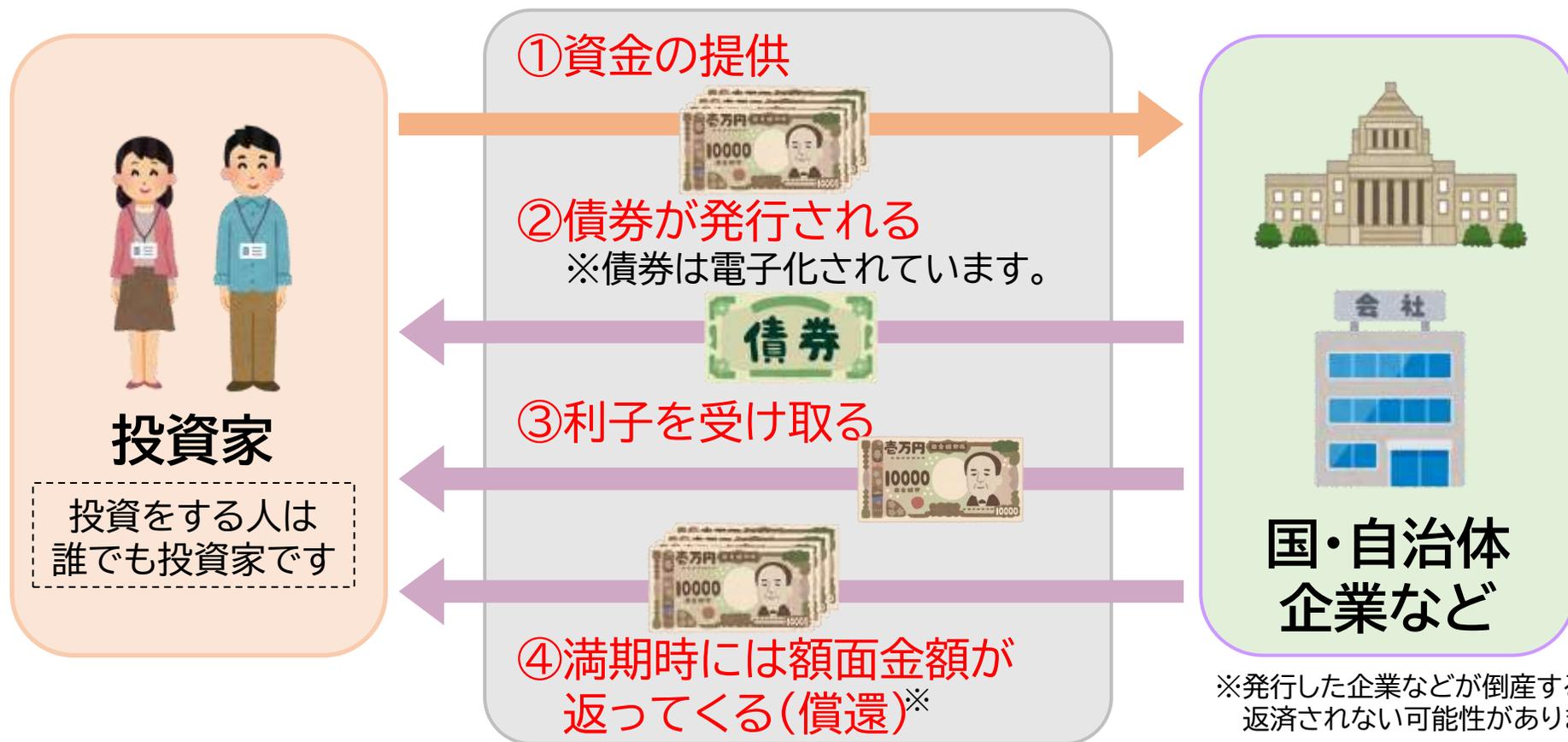
**途中で
売却可能**

リスク

価格変動リスク

信用リスク 元本の払い戻しや利子の支払いが、【約束通り行われる】～【滞る、または、行われない】

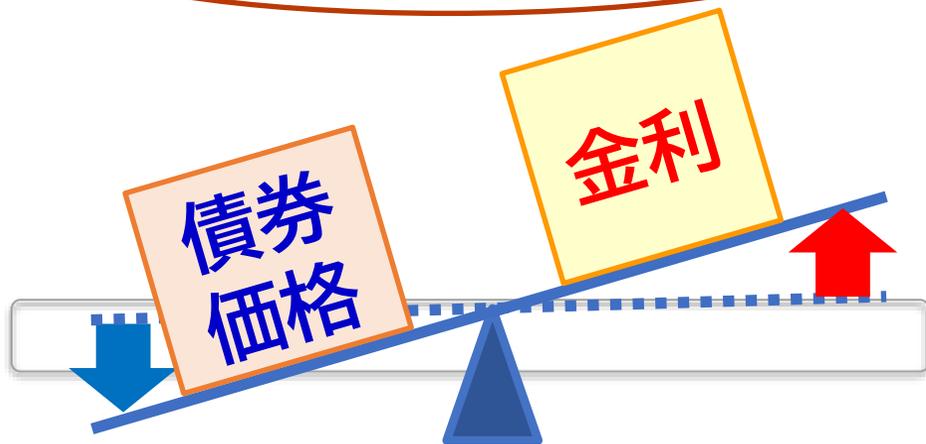
- 債券投資の特徴は、『①満期時の償還、②利子の受取り』の2点です。リスクは小さくリターンも小さめですが、基本的に安全性は高めです(ローリスク・ローリターン)。



○ 金利と債券価格の具体的な関係を見ていきましょう。

【例】発行時の**債券価格**が100円、利率が**2%**の場合

金利が3%に**上昇**



2%の債券の魅力が**down**
⇒ 債券価格が**低下**し
利回りは**上昇**する

金利が1%に**低下**

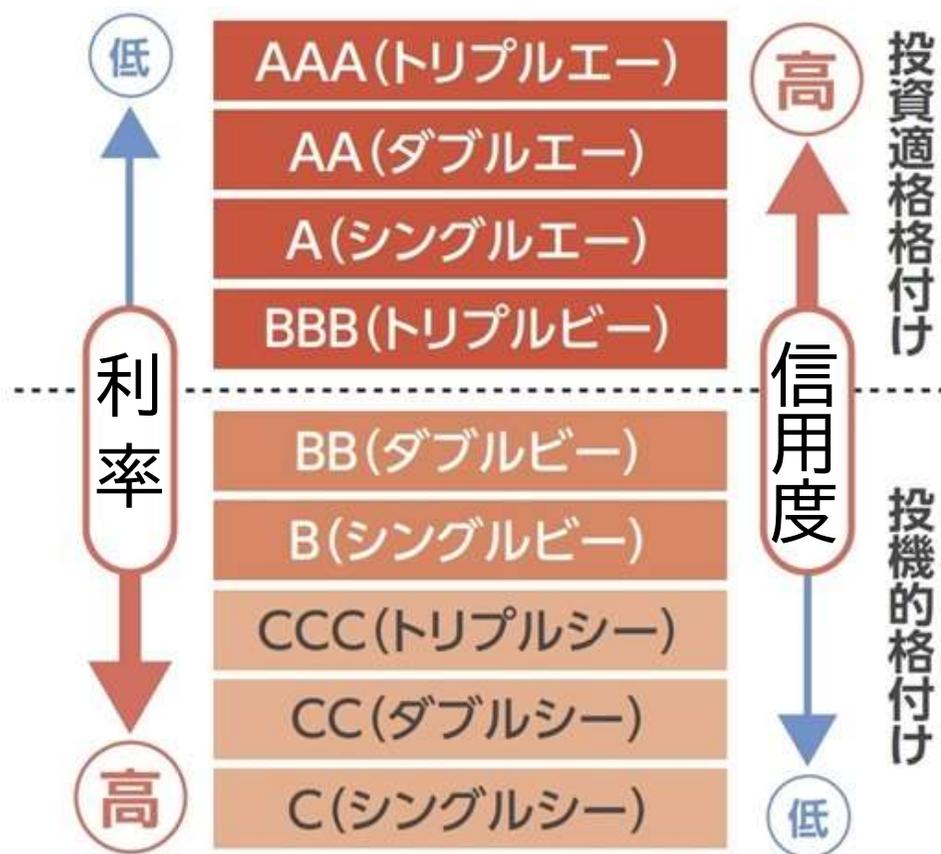


2%の債券の魅力が**up**
⇒ 債券価格が**上昇**し
利回りは**低下**する

○「格付け」は、格付会社が評価した債券ごとの信用度です。

あくまでも格付会社の意見

※主な格付け会社…日本格付研究所、格付投資情報センター、ムーディーズ、スタンダード&プアーズ など



※格付けの例

信用度が高いもののほど

- ⇒ 需要(投資家)多
- ⇒ 債券価格高、利率低
- ⇒ 収益は低
- ⇒ ローリスク・ローリターン

信用度が低いもののほど

- ⇒ 需要(投資家)少
- ⇒ 債券価格低、利率高
- ⇒ 収益は高
- ⇒ ハイリスク・ハイリターン

- 投資信託とは、株式や債券等の様々な商品を組み合わせて運用する「パッケージ商品」です。

魅力

少額で
投資可能

運用は
専門家が
担当

分散投資
でリスクを
軽減

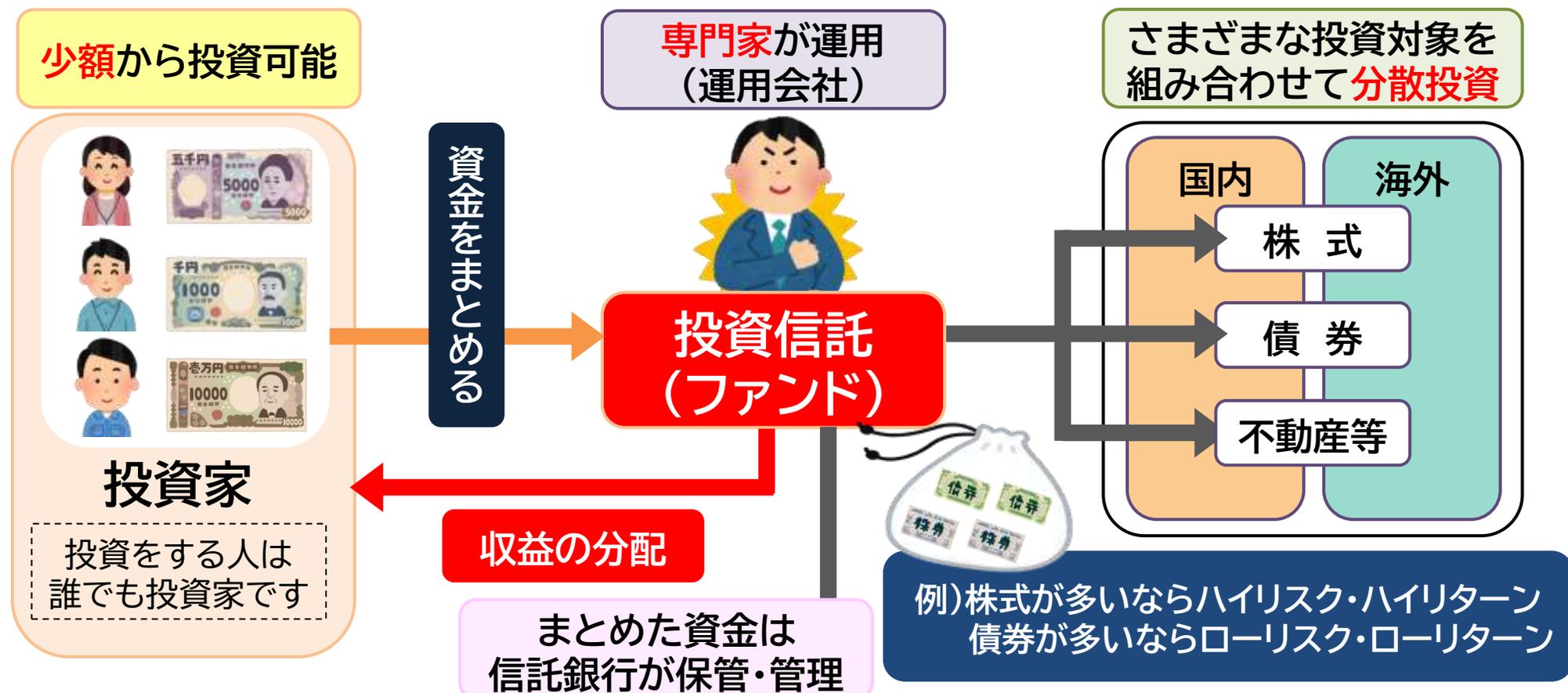
リスク

価格変動リスク

信用リスク

組み入れられている株式や債券の発行体が、将来存続している場合も破たんする場合もある。

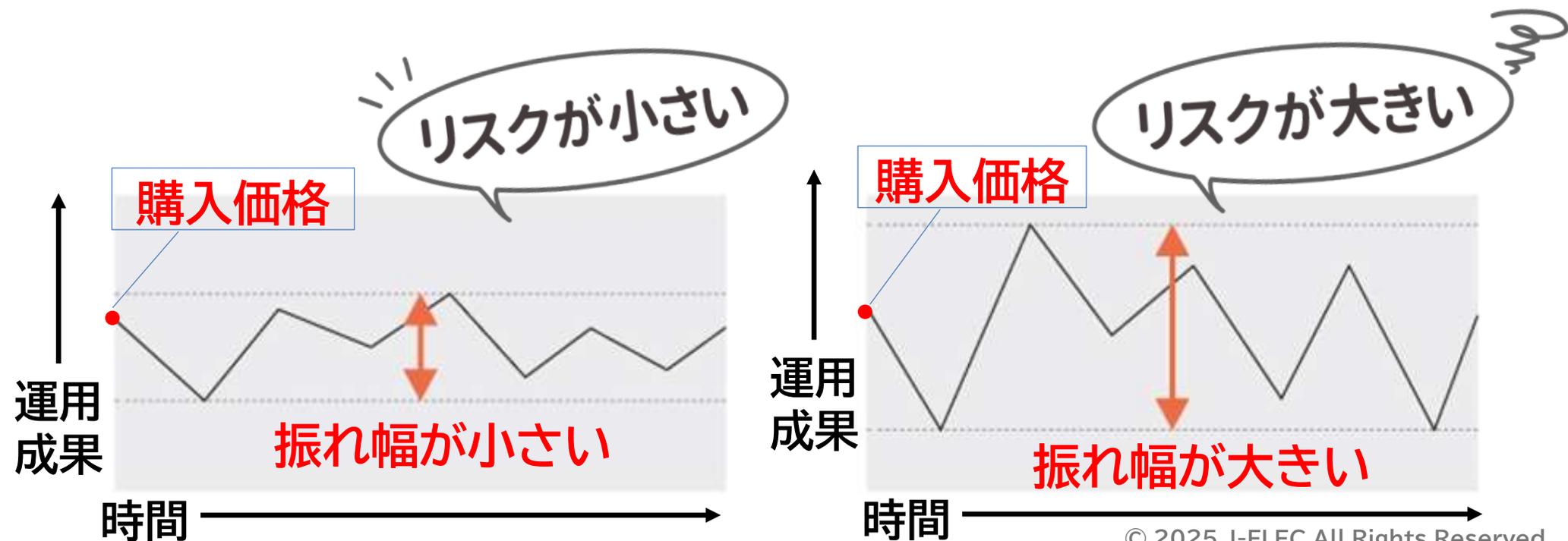
- 投資信託の特徴は、『①専門家が運用、②少額から投資可能、③分散投資でリスク軽減』の3点です。組み合わせる商品によりリスクとリターンの程度が変わります。



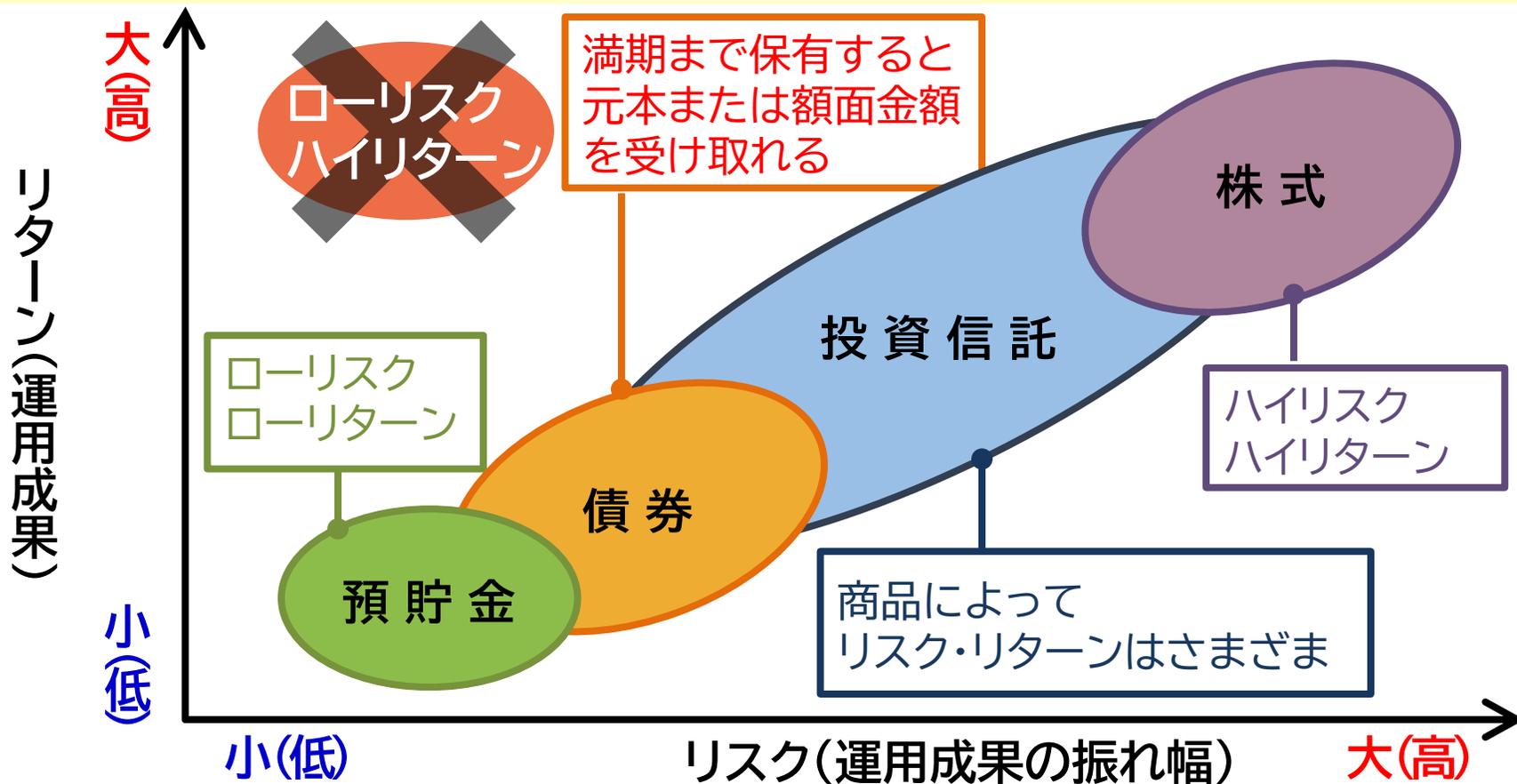
3

リスクとリターンを
正しく知ろう

- 資産運用におけるリスクとは『**運用成果の振れ幅**』のことを指します。「リスクが大きい」とは、「とても危険」という意味ではなく、「大きく儲かるかもしれないし、大きく損をするかもしれない」(運用成果の振れ幅・不確実性が大きい)という意味です。
- 『**保険で備えるリスク(危険)**』とは意味が異なります。



- 原則、リスク(運用成果の振れ幅)とリターン(運用成果)は比例関係なので、『**ローリスク・ハイリターンの金融商品はありません**』。

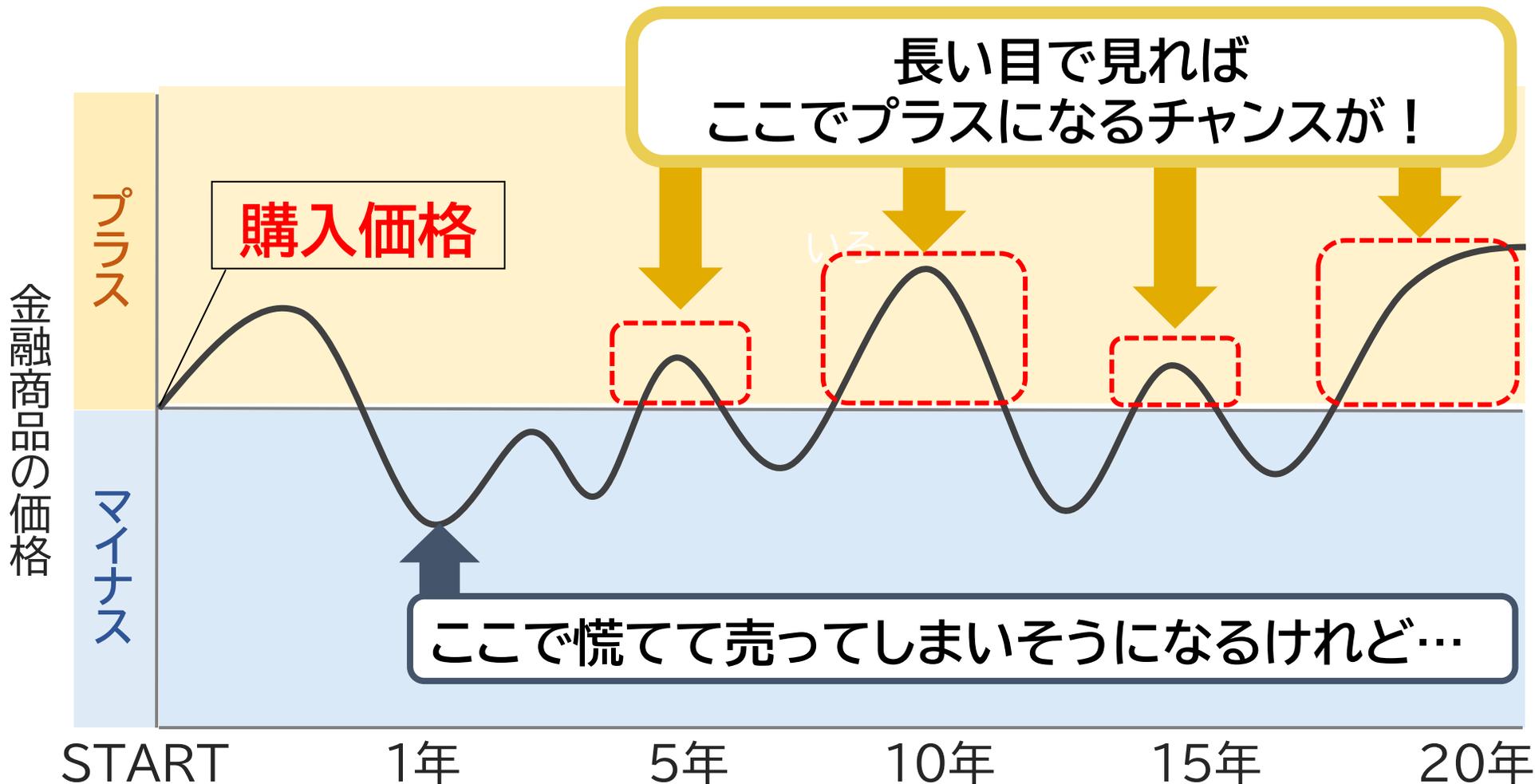


※一般的なイメージ図であり、すべての金融商品があてはまるものではありません。



4 「長期・積立・分散」について

- 投資商品の環境は、よい時もあれば悪い時もあります。
- 長期投資で時間を味方にしましょう。



- 投資は一括購入だけでなく、少額積み立ても可能です。
- 投資方法として『**定額購入(ドル・コスト平均法)**』があります。

一括購入

手持ち資金
全額で一度に購入



定額購入 (ドル・コスト平均法)

一定金額を
定期的に購入



例 毎月1万円ずつ購入

- 購入時期を分散して積み立てを行うことで、『**値上がり・値下がり**のリスクを抑える(平準化)効果』があります。
- また、定額購入は少額のため、負担感を抑えることができます。

株価の 値動き	価格					合計 株数	1株あたりの 購入単価
		1,000	1,500	500	1,000		
一括購入	株数	40	0	0	0	40	1,000
	価格	40,000	0	0	0	40,000	
定額購入 (ドル・コスト 平均法)	株数	10	6.6	20	10	46.6	858.3
	価格	10,000	10,000	10,000	10,000	40,000	

※上記値動きの場合、定額購入(ドル・コスト平均法)の方が1株あたりの購入単価を抑える効果がありますが、値動きによっては必ずしも定額購入(ドル・コスト平均法)が最適解とは限りません。

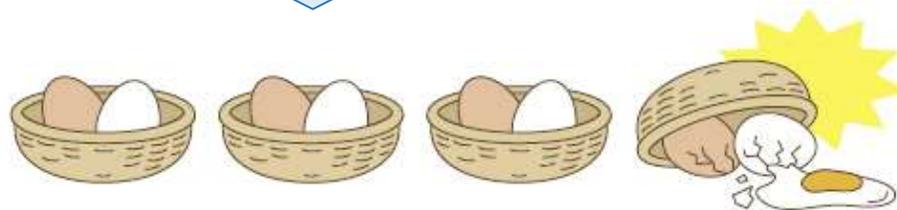
- リスクの分散の例えとして『ひとつのカゴに卵を盛るな』という考え方があります。

卵を**1つ**のカゴに
全部入れた場合
(投資先が1つ)



カゴを落とした時に
全てがダメに…

卵を**複数**のカゴに
分けて入れた場合
(投資先が複数)



1つを落としてしまっても
残りは大丈夫！

- 分散方法は主に3つあります。『**資産・地域・時間の分散**』を通じてリスク(運用成果の振れ幅)を抑えることが重要です。

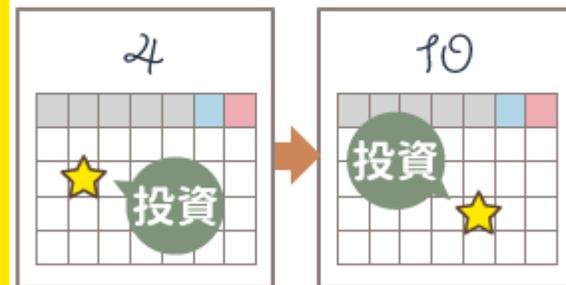
資産の分散



地域の分散



時間の分散



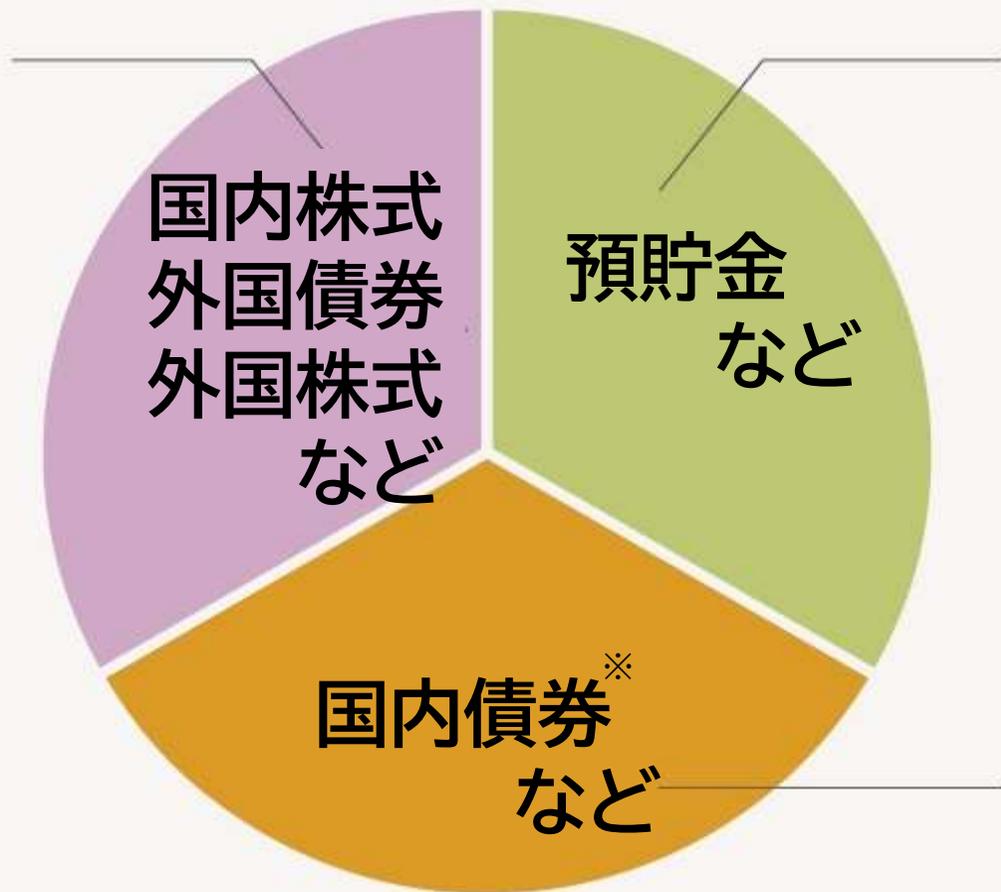
ドル・コスト平均法

- 自身に合った『**金融商品の組合せ**≡**分散投資**』を考えましょう。その人・その時の状況・相場などによって最適な組合せは変わります。

リスク資産

収益性が高い
金融商品

外国債券・外国株式
も為替リスクがある
ためリスク資産に分類



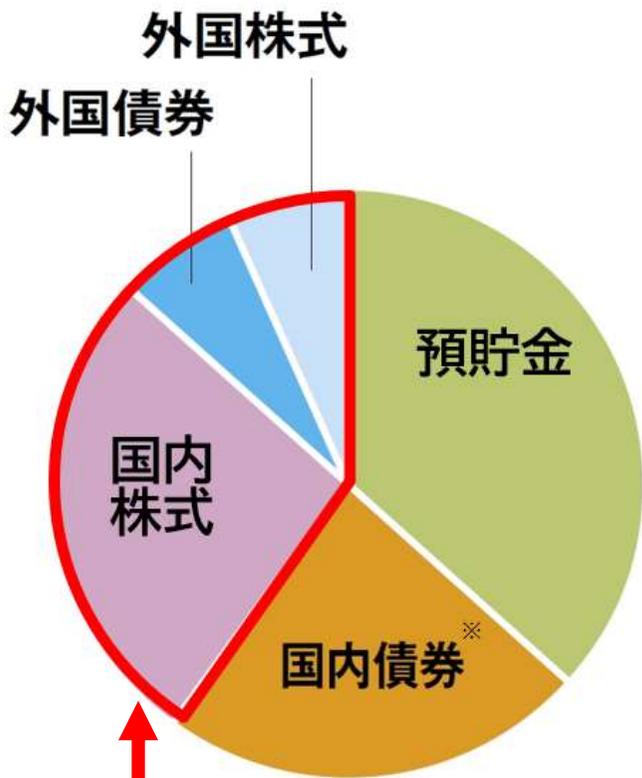
流動性・安全性
が高い金融商品

安全資産

比較的安全性が
高い金融商品

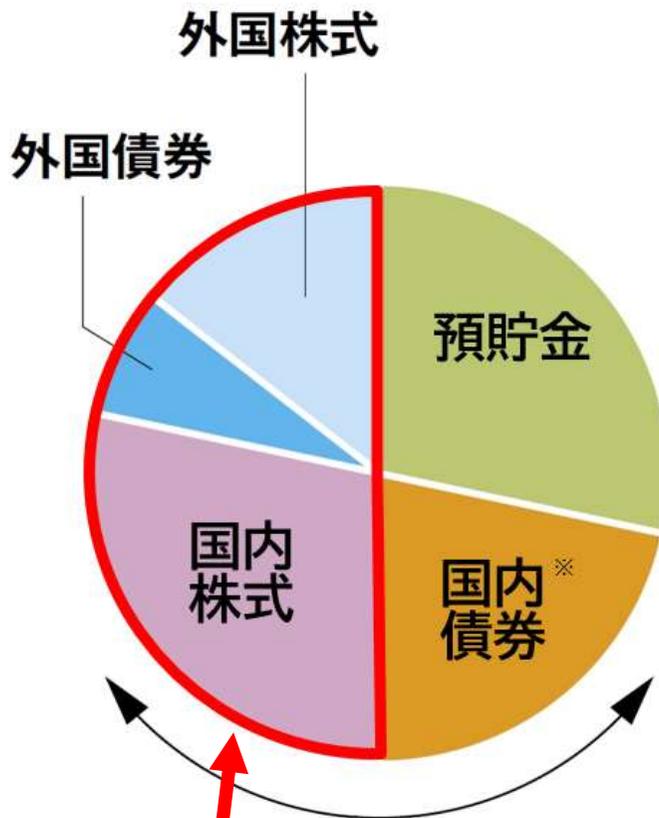
※国内債券でも一部リスク資産に
該当する場合があります。

安定運用タイプ



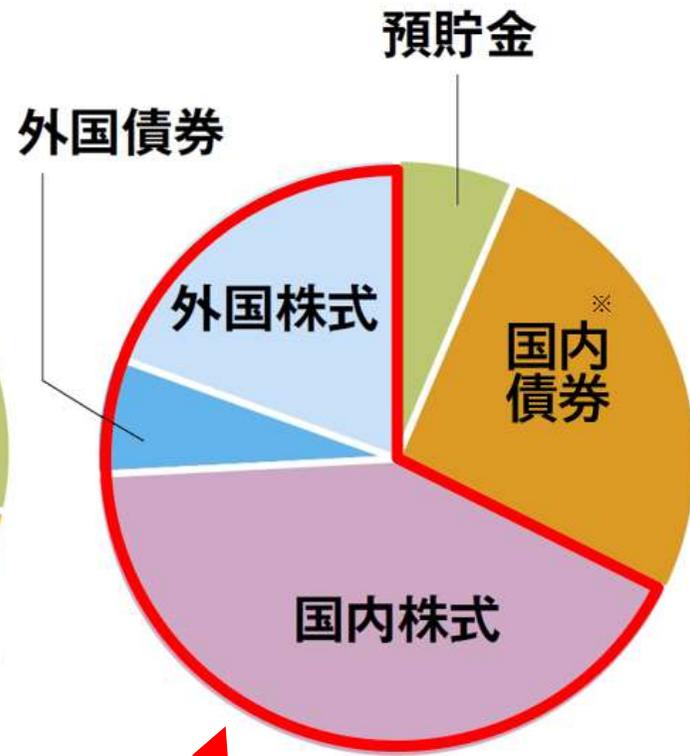
リスク資産の割合を減らして安全資産中心に配分

バランス運用タイプ



リスク資産と安全資産をバランスよく

積極運用タイプ



リスク資産の割合をふやして積極運用

※国内債券でも一部リスク資産に該当する場合があります。

5

少額投資非課税制度 NISA

○ NISAとは、『「少額投資」による利益が「非課税」』になる制度です。

通常は

税金
約2千円

税率
約20%

手元に残るお金
約8千円

投資で
得た利益
1万円

NISAなら

税金が
かからない

手元に残るお金
1万円

Check!

制度を利用するには、銀行や証券会社などで
NISA口座※を開設する必要があります。

※原則1人1口座のみ。年単位で利用する金融機関を変更することができます。

- NISAでは、「株式」や「株式投資信託」などを購入することができます。

NISAの対象となる金融商品の利益

株式

譲渡益
配当金

株式投資信託等

収益分配金
途中換金による利益
償還時の利益

- 2024年からNISAが恒久化・拡充されました。
- 『投資可能期間が無期限、非課税保有期間も無期限、2つの投資枠が併用可』とより使いやすくなりました。



○ つみたて投資枠、成長投資枠では、『**対象商品、年間投資枠、保有限度額**』など利用方法に違いがあります。

	つみたて投資枠	併用可	成長投資枠
投資対象商品	長期の積立・分散投資に適した一定の投資信託 (金融庁の基準を満たした投資信託に限定)		上場株式、投資信託等 (①整理・監理銘柄②信託期間20年未満、毎月分配型の投資信託及びデリバティブ取引を用いた一定の投資信託等を除外)
年間投資枠	年間 120 万円		年間 240 万円
非課税保有限度額 (総枠)	1,800万円 (うち成長投資枠は 1,200万円) ※購入商品を売却した場合、(購入時の買値分だけ翌年以降)枠の再利用が可能		
非課税保有期間	無期限		
買付け方法	「1カ月に1回」など定期的に一定金額の買付けを行う方法(積立投資)に限る		特に制限なし

- NISA口座は証券総合口座、投資信託口座などの『取引口座開設』が前提です。

証券会社で
証券総合口座を開設する

銀行等で
投資信託口座を開設する

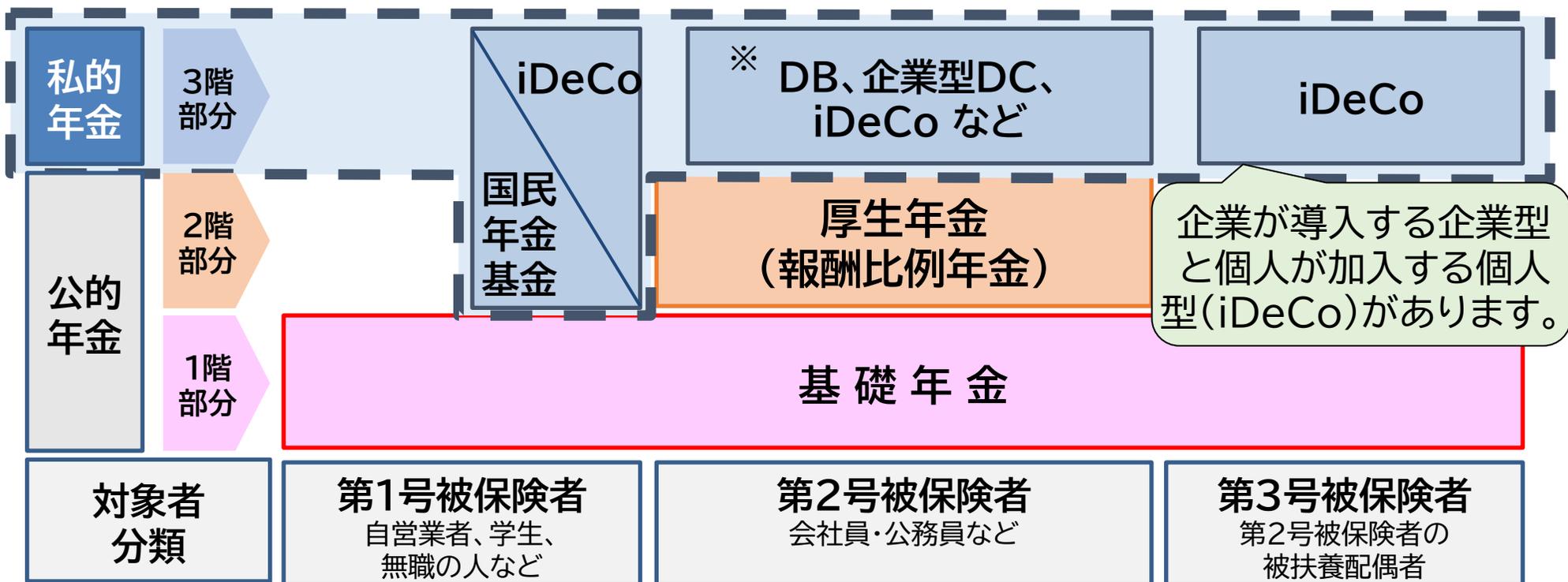


NISA口座を開設



6 確定拠出年金

- 私的年金は、公的年金の上乗せの給付を保障する制度です。この制度は『**高齢期により豊かな生活を送るための制度**』として重要な役割を果たしています。企業や個人は、多様な制度の中からニーズに合った制度を選択することができます。



※DBは確定給付企業年金、企業型DCは企業型確定拠出年金、iDeCoは個人型確定拠出年金を意味する

【ねんきん定期便をお持ちの場合】

例えばこんなシミュレーションも可能です！

働き方・暮らし方の入力

現在・暮らし方
将来・暮らし方

現在・年金加入状況
将来・年金加入状況

現在・収入
将来・収入

現在・支出
将来・支出

検索

現在、35歳で、配偶者の扶養の範囲内です。現在、35歳で、配偶者の扶養の範囲内ですが、今後、扶養を外れて働くとなんかどう変わりますか？

60歳から65歳まで会社員として働いた後、67歳までパートとして働いたら、年金はどれくらい増えますか？

STEP 1 「ねんきん定期便」の二次元コードをスマートフォンから読み込む

検索サイトなどからのアクセスも可能！

STEP 2 生年月日を入力し、「試算する」をタップ

生年月日を入力！

「試算する」をタップ！

STEP 3 将来の年金受給見込み額がパッと表示されます！

カンタンに条件変更が可能！

今後の年収
450万円
直接入力

タップ

スライド

スライドバーの移動や＋ボタンのタップ、数字の直接入力で、「今後の年収」、「就労完了年齢」、「受給開始年齢」が簡単に変更できます。

※基準に入力された年金加入状況により、操作できるスライドバーが異なります。

【ねんきん定期便をお持ちでない場合】

STEP 1 生年月日を入力し、「試算する」をタップ

生年月日を入力！

「試算する」をタップ！

STEP 2 働き方・暮らし方を入力し、「試算する」をタップ

働き方入力！

期間・年収を入力！

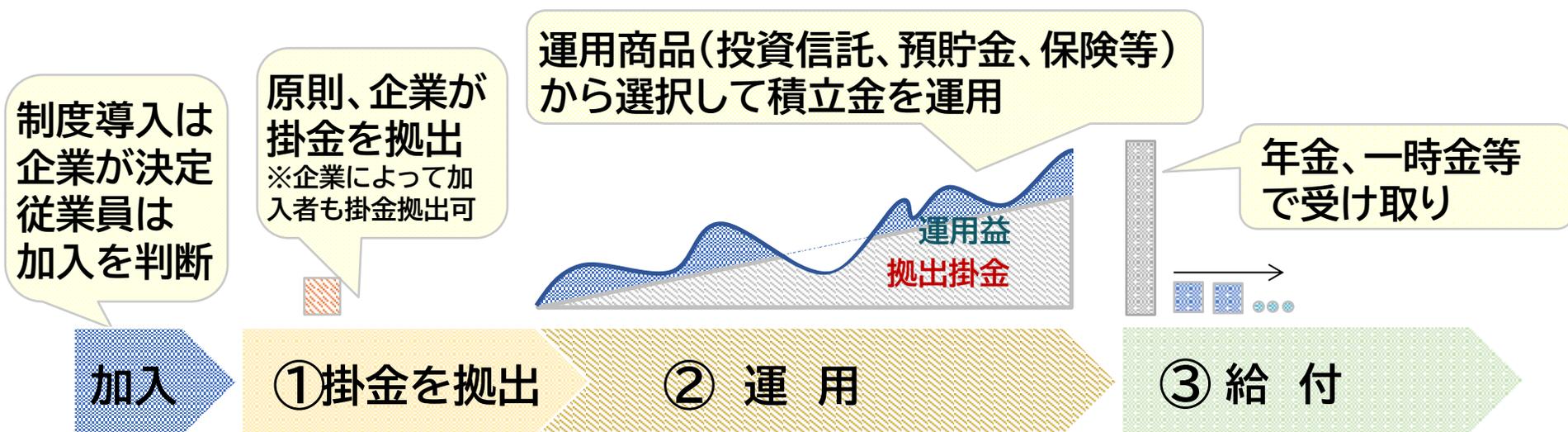
公的年金シミュレーター 検索



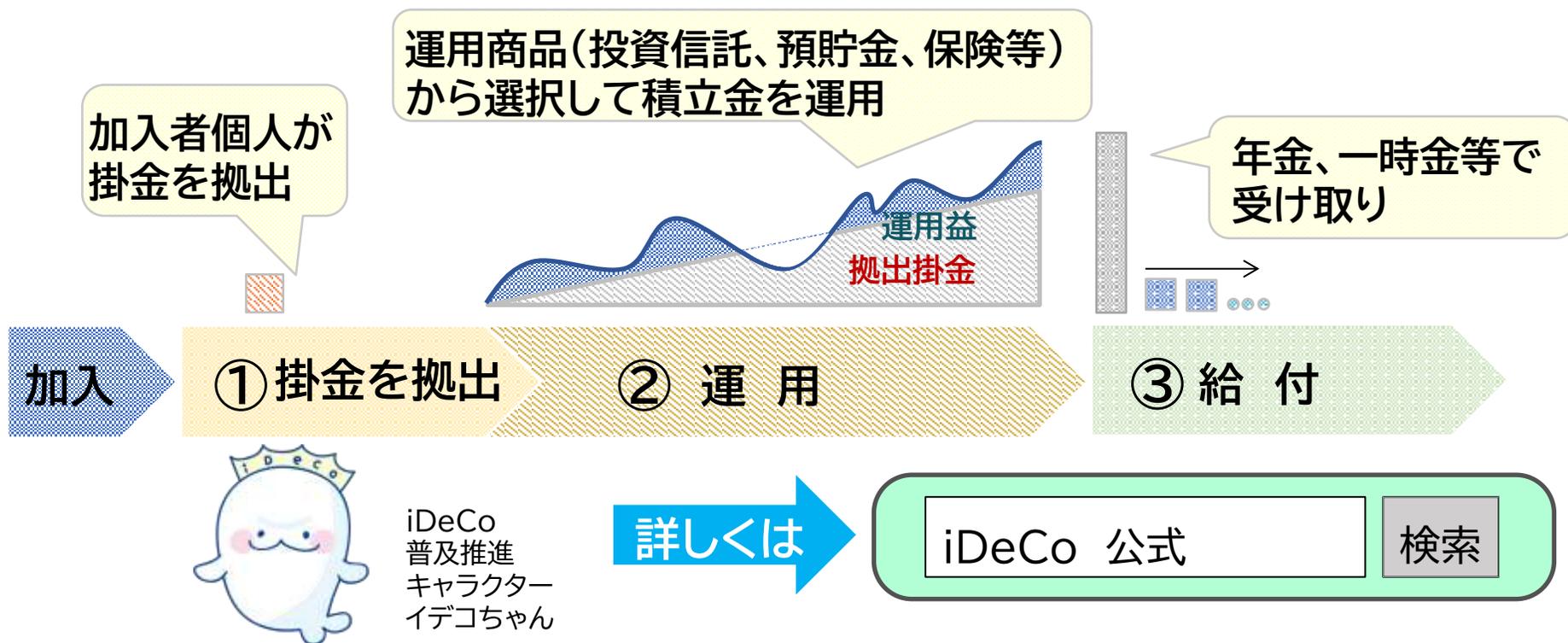
概算を試算したい場合▶公的年金シミュレーター
<https://nenkin-shisan.mhlw.go.jp/>

詳細を試算したい場合▶ねんきんネット
<https://www.nenkin.go.jp/nnet/>

- 企業型DC(企業型確定拠出年金)は、『企業が導入を決定』、『原則、企業が掛金を拠出』します。『従業員(加入者)自らが資産を運用』し、従業員ごとに拠出額と運用益を管理し受取額が決定されます。
- 原則60歳まで引き出しできません。



- iDeCo(個人型確定拠出年金)は、『**個人で加入**』し、『**一定額を毎月拠出**』します。『**加入者自らが資産を運用**』し、最終的に拠出額と運用益により受取額が決定されます。
- 原則60歳まで引き出しできません。

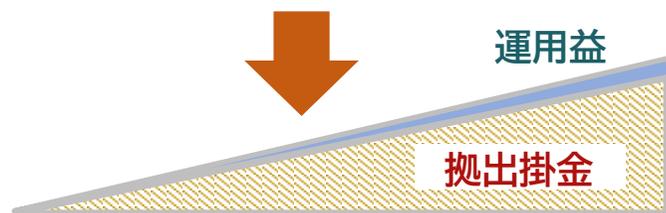


- DC(企業型DC・iDeCo)は、『月々の掛金等で金融機関が提示する商品の中から自分で選択して運用商品を購入』します。
- 運用商品は、「元本確保型商品」と「価格変動型商品」の2種類に大別できます。

- ・元本確保型商品は、原則元本が確保されますが、大きくは増えません。
- ・価格変動型商品は、運用結果によって資産の増減があります。

元本確保型商品

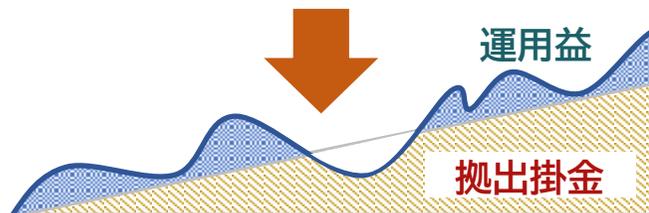
預貯金、保険商品等



貯めたい人向き

価格変動型商品

投資信託等

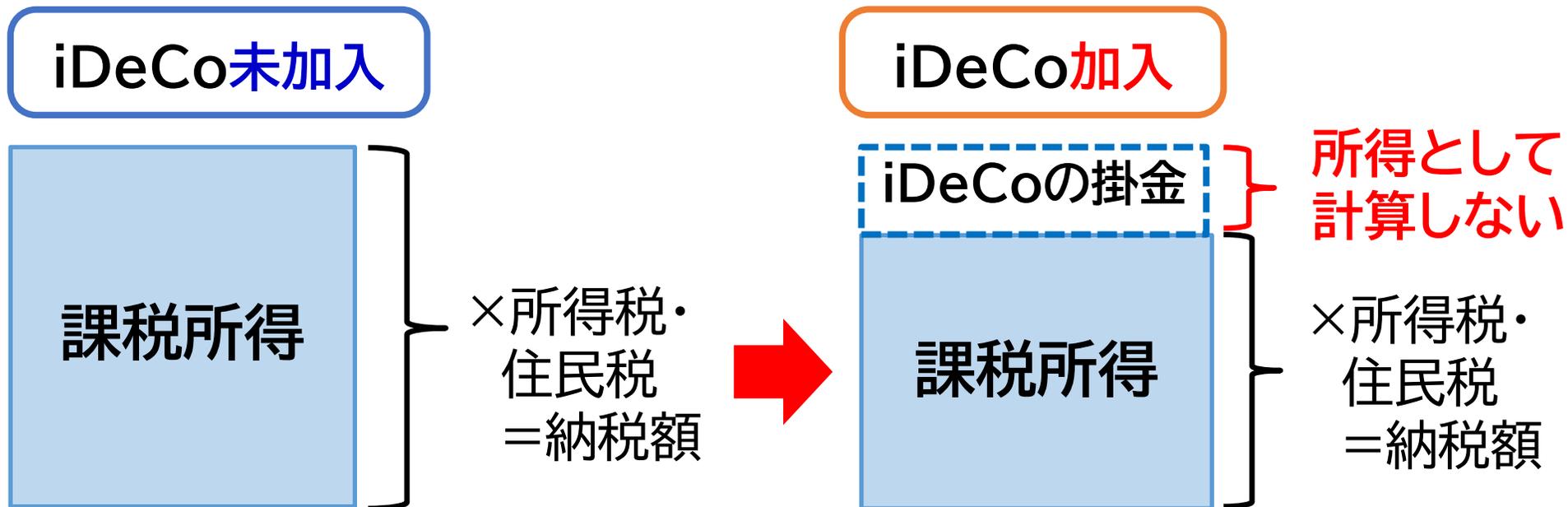


ふやしたい人向き

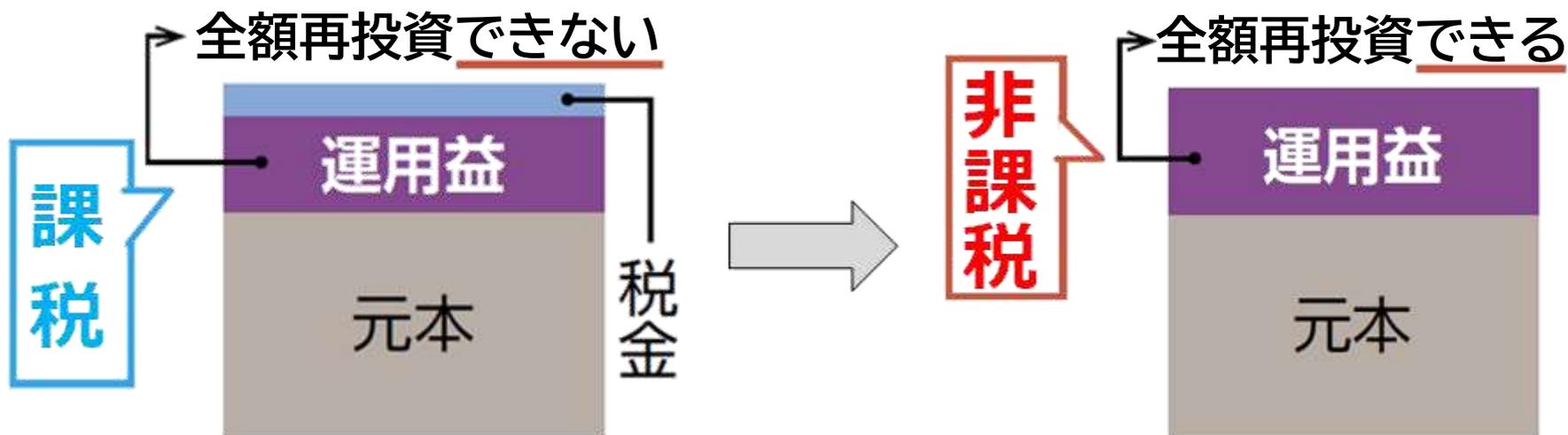
1

掛金全額が所得控除の対象となり、所得税、住民税が軽減されます

- ※ 給与所得のない専業主婦(夫)は対象外です(課税所得があることが前提)
- ※ 企業型の掛金は給与ではないため、所得税、住民税がかかりません。
- ※ 課税所得が減ると、地域によっては認可保育園の保育料が減る場合があります。



2 運用益も非課税で再投資！



3 受取り時には課税されますが、**手続きを行うことにより**、「**公的年金等控除**」や「**退職所得控除**」の対象となる場合があります

資産の運用は加入者自らの判断で行います

- 運用の結果は一人ひとり異なり、不確定です



資産は60歳まで引き出せません

- **NISA制度との大きな違い**はここにあります

手数料は自己負担(iDeCoの場合)

- iDeCoの手数料をしっかりとチェックしましょう

7

投資詐欺に気をつけよう



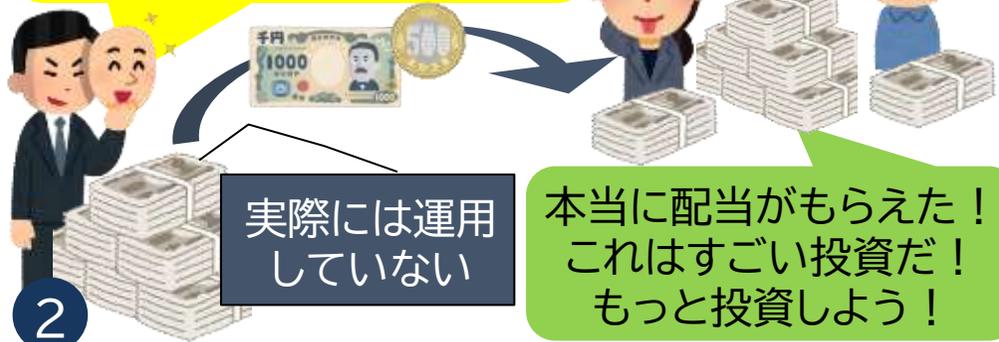
元本保証で毎月1%の配当が確実に受け取れますよ



本当かな？でも魅力的な商品だから少しでも投資してみよう

1

配当金をどうぞ！お友達にも勧めてください！紹介料も払いますよ！



本当に配当がもらえた！これはすごい投資だ！もっと投資しよう！

2

(さて、そろそろかな...)



元本保証で毎月1%配当がもらえる投資があるんだよ！実際に私たちも儲かってるよ！

3



集めたお金を持って海外に逃亡だ！

会社の資金繰りのため、配当を停止します。投資したお金の返還にも応じられません。



巨額の被害が発生

○ ポンジ・スキームの特徴を把握しておきましょう。

1. **「元本保証」「毎月・毎年確実に〇%儲かる」といった宣伝文句がある**
— まず、金融商品はリスク(価格の変動)とリターン(利益)は表裏一体です。
元本が保証されていて、毎月・毎年〇%儲かる投資はあり得ません。
2. **最初は実際にお金を受け取れる**
— 被害者を信頼させるため、詐欺師は一定期間はお金を支払います。そのため、**詐欺師を信頼してしまいやすくなり、さらに被害が拡大します。**
3. **友人や知人を紹介すると利益が増えたり、紹介料がもらえる**
— 詐欺師はより多くのお金を集めた段階で逃げるため、**参加者を増やすために友人を紹介すると紹介料がもらえる等**のケースが多くなります。

ポンジ・スキームは最初はお金がもらえる等の性質上、特に騙されやすい詐欺です。特徴をしっかりと覚えておきましょう。

○ 「絶対儲かる、楽しんで稼げる」等とうたった詐欺が増えています。



(出所)日本証券業協会作成「必ず儲かるUSB」(情報商材勧誘)にご注意ください!



**高校時代の友人や、大学のサークルの先輩、職場の先輩
等を通じて、投資詐欺の被害に遭う事例が多発しています**

このUSBにある、株価指数オプションの取引システムを使えば必ず儲かる。これで大儲けして最近高級車を買ったんだ!

- 1 このUSBにある、
USBを利用しないケースもあるので、これで詐欺は見抜けない
- 2 株価指数オプション取引
ハイリスク・ハイリターンの商品だが、**仕組みが理解できない場合は購入しないことは投資の鉄則**
- 3 必ず儲かる
詐欺の典型例のセリフ。**投資に「必ず」はありえない**
- 4 これで大儲けして
大儲けの裏には**大損する可能性もある**ことに注意
⇒ **リスクとリターンの関係**

○ 投資詐欺では『被害者が加害者になってしまう』こともあります。



解約は出来ないけど、
友達を紹介したら1人
10万円紹介料を払うよ



全然儲からないじゃないか…

友人・知人を勧誘して被害が拡大
被害者が加害者に！

○『詐欺に遭わないためのポイント』を押さえておきましょう。

1. 自分は詐欺に引っ掛からないと**思いこまない**。
－「自分は大丈夫」と自信過剰になる人ほど詐欺被害に遭いやすい特徴があります。
2. **友人・知人(先輩など)からの勧誘**であっても注意。
－友人・知人からの勧誘であっても、怪しいと感じたら勇気を持って断りましょう。
3. 「**高額な手数料・登録料**」を請求されたら要注意。
4. 「**絶対に儲かる**」商品はありません。
－流行りの言葉(AI、メタバース、NFT、仮想通貨、暗号資産等)との組み合わせで、「もしかしたら絶対に儲かる商品があるのかも」と思ってしまいがちです。
5. 「**あなただけに特別なご案内**」といった勧誘文句に注意。
－人は「あなたは特別だ」と言われると冷静さを失いやすくなります。

○投資詐欺に遭わないために何に注意すればよいのでしょうか？

SNSや広告を利用した投資詐欺の特徴

- 1. 著名人やタレント、経済番組の切り抜き**が広告になっている
 - ー近年、著名人や経済番組の画像を悪用して投資詐欺の広告を作成し、SNS等で配信する事例が急増しています。「**著名人が出ている**」だけでは安心できません。
- 2. SNSのグループ等**に登録させる
 - ーSNSのグループは閉鎖的で、詐欺に気づきにくくなります。実際に「指導者・先生の言う通りに投資をして儲かりました！」という参加者もいますが、**それも詐欺師です**。
- 3. 専用の投資アプリや投資ツール**で投資させる
 - ー「投資のため」として専用のアプリで投資をさせたりツールを購入させたりします。一見利益が出ていても、実際には出金できません。「**出金手数料**」「**税金**」等と称してさらに**金銭を要求**され、被害が拡大することもあります。

まず、「**簡単に儲かる話はない**」という**大前提**もしっかり覚えておきましょう。

- 金融トラブルに限らず、消費者トラブルで困った際は、
『独りで悩まずに相談』しましょう。

<p>契約や商品について困ったときは ⇒ 消費者ホットライン (全国共通)</p>	<p>188(いやや)</p>  <p>消費者庁 消費者ホットライン188 イメージキャラクター いやヤン</p>
<p>警察に相談したいときは ⇒ 警察相談専用電話 (全国共通)</p>	<p>#9110</p>
<p>金融サービスについて困ったときは ⇒ 金融庁 金融サービス利用者相談室</p>	<p>0570-016811</p>

- 資産形成は自分のためだけでなく、**社会に貢献**する意味があることを理解しましょう。
- 主な**金融商品のしくみやリスク**を理解しましょう。
- **長期・積立・分散投資**はリスクの軽減に効果的です。
- **NISA**や**DC制度**は長期・積立・分散投資を後押ししてくれる制度です。上手に利用しましょう。
- **金融商品に対する正しい知識があれば詐欺を防ぎやすくなります**。あやしいと思ったら**独りで悩まず相談**しましょう！